



SHINAGAWA

議会報告

～品川区議会公明党～

【品川区議会公明党会派報告】

●発行：品川区議会公明党 幹事長：たけうち忍

●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

品川区の「今」をお伝えします!

2015年

no. 2

品川区立教育総合支援センターが開設されました



平成27年4月に新設した「教育総合支援センター」は、プラネタリウム、図書館、スタジオなどがある文化芸術の拠点となる五反田文化センターの4階に開設されています。

同センターは、教育に関する相談内容の多様化・複雑化に対応するため、特別支援教育と「学校支援チーム・HEARTS」の組織と機能を従来の教育センターに集約したものです。

これにより3歳から18歳までの区内に在住または在学の幼児や児童・生徒の学習や生活、その他教育に関する悩みや不安、心配など、どのような相談にも電話や来所で応じることができるワンストップ(1ヶ所で対応ができること)の相談窓口となりました。

品川区議会公明党では、かねてより乳幼児から18歳まで育児・教育に関わる切れ目のない支援を求めてきました。その意味からも同センターの機能に期待をしています。

電話相談の場合は、匿名でも受け付けています。

来所の場合、事前に予約し第1回目は、ソーシャルワーカーがご相談を受けます。利用にあたって料金は無料、面談室は6部屋ありプライバシー保護の配慮もされており、安心してご相談頂けます。

「総合受付電話」どのような相談も受け付けます

03-3490-2000 月～土 9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

「教育相談室」子どもについての悩みや不安について、
カウンセラーや教育相談員に相談したい時

03-3490-2006 月～土 9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

「特別支援教育係」子どもの発達に関することや
特別支援教育に関することを相談したい時

03-5740-8202 月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

「HEARTS(ハーツ)学校支援チーム」
いじめ、不登校や非行、虐待に関する相談をしたい時

03-5740-8225 月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

HEARTS(ハーツ)とは?【Help Encourage Assist Rescue Team Shinagawa】
教育・福祉・心理・元警察官のスタッフで構成する専門家のチームです。

現在区内の小中学校で使用している教科書や教育関係図書、その他教育に関する資料を展示し閲覧することが出来ます。

品川区立教育総合支援センター 品川区西五反田6-5-1

第2回定例会 一般質問

待機児童対策

Q. 待機児童数が増加したことから、来年4月に向け1,000名以上の大胆な定員拡大策が必要ではないか。

A. 現在、認可保育園・認証保育所や広町大規模保育施設等の開設で、620人の定員拡大予定である。さらに、上乗せできるよう事業者
に要請しながら、拡大の方向で積極的に取り組んでいる。



地域包括ケアシステム

Q. システム構築の要である医療連携検討部会の進捗状況は。

A. 医療と介護等関係者の顔の見える関係が築かれ、議論が活発になった。まずは、在宅診療充実のための検討が進められ、医療機関情報の集約システムが構築されることとなった。課題である情報共有等の仕組みづくりも、今後検討していく。



路線バスの拡充

Q. コミュニティバス等の導入に区は慎重な姿勢だが、荏原・大崎地域等から大井町への移動の困難さは大きな課題だ。補助26号線完成予定の4年後に向けた路線バスの拡充策は。また、それでも移動困難が解消されない地域への補完策は。

A. 区内の東西を移動する交通手段が不十分であり、路線バスの拡充は重要課題である。補助26号線では、その導入を前提としてバス停位置などの協議を行っている。補完策として、これまで福祉タクシー利用支援等を行ってきたが、引き続きハード・ソフト面で関係機関と検討する。

平成27年6月25日から7月8日まで、品川区議会第2回定例会が開かれました。品川区議会公明党は以下の内容について質問をしました。

基金運用改革について

Q. 安全性・流動性・効率性の確保という公金管理の三原則は堅持しつつ、基金の一括運用や長期・超長期の国債や地方債などを増やしたポートフォリオを構築するなど、積極的な基金運用改革を進めるべき。

A. 10年あるいは20年国債、政府保証債等を検討したい。地方債も視野に入れながら、積極的な運用を心がける。

しながわネウボラネットワーク 検討委員会について

Q. 品川区のネウボラネットワークの構築に際し、産後ドゥーラの活用や他自治体で設置されている産前・産後ケア施設を利用した際の利用費助成を図っては。

A. ネウボラネットワークの検討の一環として、民間サービスの内容の調査を行い、提案の産後ドゥーラや産前・産後のケア施設の利用も含め、アンケート調査等の結果を踏まえて検討する。



ネウボラとは? フィンランドの子育て支援の名称。妊娠、出産、就学前まで長期的かつ総合的に支援する仕組み。

ドゥーラとは? 妊娠・出産・子育てをする女性を、地域社会で支える存在。欧米では職業として確立されている。

【その他の質問項目】

- マンション耐震化
- 土砂災害対策
- 災害時の外国人旅行者対応
- 生活困窮者自立支援制度
- 平和事業
- など

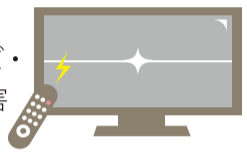
平成27年度 品川区予算・ 補正予算 主な施策

品川区が平成27年度に取り組む事業について、予算と補正予算が編成され可決されました。

喫緊の課題である待機児童対策のほか、福祉対策、街のにぎわいづくり、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業などが行われます。

しながわテレビ・プッシュ加入促進

「しながわテレビ・プッシュ」は災害発生時などに自動的にテレビの電源が入り、緊急情報などを知らせるサービスです。区では加入費用などの補助を行います。



生活困窮者に対する相談窓口を開設

仕事や健康問題、借金などで生活に困窮した状態にある方に対してきめ細かい支援を行えるよう相談窓口を開設しました。



大規模保育施設の新規開設

広町にある区有地を活用し、定員300人の大規模保育施設を新規開設します。平成28年の開設を予定しています。



しながわフリーWi-Fiスポットの整備

大井町駅西口と東口に外国人旅行者等へのPRのためWi-Fiを設置します。しながわ中央公園などにも、災害時の安否確認手段確保用のWi-Fiを設置します。



認知症ケアパス作成

認知症になっても住み続けられるまちを目指し、本人・家族・医療・介護の連携を進めるための取り組みを行います。



公園における保育園整備の検討

国家戦略特区の規制緩和策を活用し、都市公園内での保育所設置を目指した検討を進めます。



オンライン英会話レッスン

モデル校（中学校）を対象に、授業のなかで外国人講師とのマンツーマンでの英会話レッスン（オンライン）を行います。



品川産業支援交流施設「SHIP」オープン

国内外から便の良い「大崎」に新たなビジネス拠点となる施設をオープン。技術とアイデアの交流で「しながわ」を活性化させます。

品川産業支援交流施設「SHIP」オープン

国内外から便の良い「大崎」に新たなビジネス拠点となる施設をオープン。技術とアイデアの交流で「しながわ」を活性化させます。



空き家活用モデル事業

区内の空き家を活用するため、区が実施する事業での使用や、「産・学・官」協働での活用策を検討し、品川区ならではの空き家活用策を実施します。



蚊の発生を防止

蚊が媒介する感染症を防ぐために、蚊の発生を防止し成長を抑制する薬剤を雨水ますに投入します。薬剤は環境と健康に配慮したものを使用します。



区内35団体と懇談会を実施

7月13日～21日に、区内の各種団体と懇談会を実施しました。

平成19年の開始から9年目となる今年の懇談会は、医療・福祉・障がい者団体をはじめ、建設関連団体、税理士や行政書士などの士業の団体等、35団体の方々から貴重なお話を伺いました。

今後は、議会質問や予算要望等を通じて区政への反映に取り組んでまいります。



視察報告

「つどい場さくらちゃん」

6月1日に兵庫県西宮市の「つどい場さくらちゃん」を視察しました。介護を経験した方が、食事をしながら介護の悩みを自由に話し合える場を自発的に作った地域の集いの場で、食事代と使用料だけで運営されています。このような集いの場は市内に何カ所も点在していたことから行政が支援を行い、9箇所のネットワークが生まれ、中には介護保険総合事業のモデル事業を委託される所も出てきています。

住民の自発性による新たなコミュニティとして、今後の地域福祉にとって大きな力となることを期待され、その可能性を大いに感じました。



議会・委員会の新たな構成

5月26日に行われた「第1回臨時会」において、正副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会の委員選任、特別委員会の設置・委員の選任が行われました。

【副議長】浅野ひろゆき

【常任委員会】 注：◎は委員長、○は副委員長

総務 ○あくつ広王 区民 たけうち忍
厚生 若林ひろき 新妻さえ子 建設 ◎こんの孝子 つる伸一郎
文教 ◎塚本よしひろ 浅野ひろゆき

【議会運営委員会】

○たけうち忍 浅野ひろゆき 塚本よしひろ

【特別委員会】

行財政改革 たけうち忍 塚本よしひろ 新妻さえ子
オリンピック・パラリンピック推進 ○つる伸一郎 若林ひろき あくつ広王

デマンド型 地域公共交通システム 「あづみん」

8月5日には長野県安曇野市のデマンド型地域公共交通システム「あづみん」を視察しました。少子高齢社会の到来とともに、交通弱者のための新たな公共交通の整備が自治体の責務となっています。安曇野市では、平成19年9月から1回300円で自宅から目的地まで直接移動できるデマンド型乗合タクシー「あづみん」を運営しています。「あづみん」は行政・タクシー事業者・社会福祉協議会の3者の連携によって運営されています。そして本当に困っている人に利用される地域公共交通を実現するため、事業を始めるにあたって市民のニーズ調査を徹底して行いました。市民からの評価もよく利用者もほぼ計画通りに推移しています。

地域公共交通の成功例として参考にすべき点が多くありました。



公明党の区議会議員



皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org